

ポータブルミニディスクプレーヤー

取扱説明書/Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、

火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MZ-E7W

Sony Corporation © 2000 Printed in Japan



主な特長

本機はソニーが開発したミニディスクフォーマットを採用したポータブルミニディスクプレーヤーです。

- 腕時計型のワイヤレスコントローラーで操作できるミニディスクプレーヤー
- 本体フレーヤー部の基本操作ができる、バックライト付きのディスプレイに、曲名や再生状況を9文字ワード表示します。
- ディスクの出し入れが快適な「ワタッヂイジエクト」機能
- 侧面のボタンを押すだけで扉が開き、ディスクが出てきます。
- 充実した腕時計機能
- カレンダー・ストップウォッチ・アラームなどの腕時計としての基本機能を装備しました。
- 電池持続時間の長時間化を実現した省電力設計
- 約40秒の音飛びガードメモリー搭載

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 調子が悪いときは必ずチェックを
- この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 部品の保有期間にについて当社ではポータブルミニディスクプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間に修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご案内

ソニーではMZ-E7Wのお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。

お使いになつて不明な点や技術的な相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話: 048-794-5194

受付時間: 月~金 午前9時から午後5時まで(祝日、年末、年始、弊社休日を除く)

受付期間: お買い上げ日より1年間

ご相談になるときは次のことをお知らせください

型名: MZ-E7W

故障の状態: できるだけ詳しく

お買い上げ日月日

アフターサービスを依頼するときは

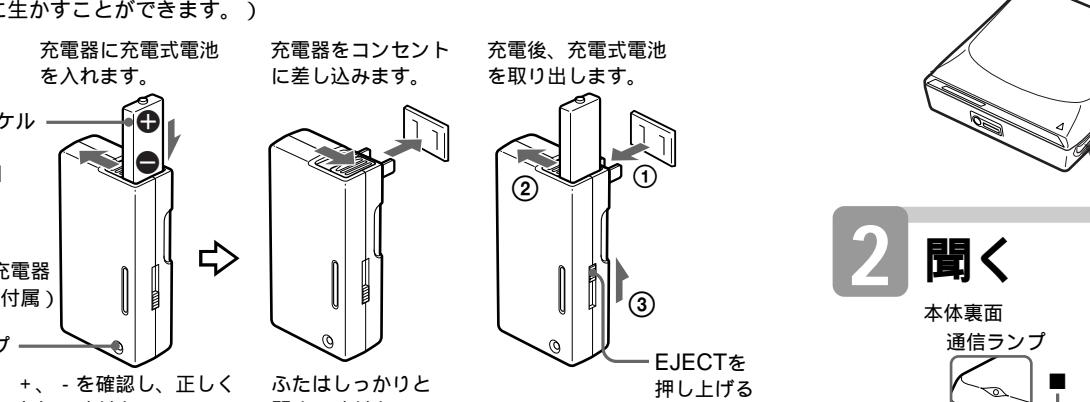
必ず本体とヘッドホン、ワイヤレスコントローラーのすべてをお持ちください。

準備する A

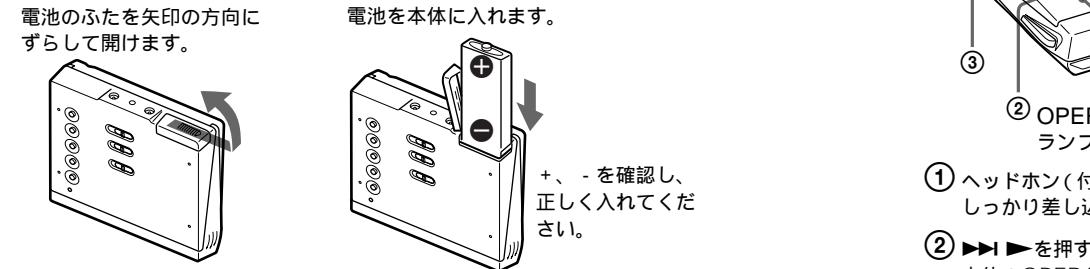
電源は、付属の充電式電池や別売りの乾電池を本体に、付属のボタン型電池をワイヤレスコントローラーに使用します。くわしくは、「電源について」をご覧ください。

1 充電式電池 本体用を充電する

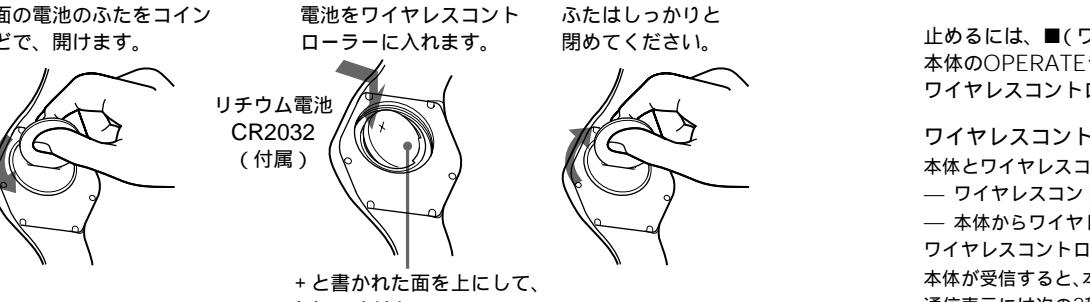
約1.5時間で充電ランプが消え、充電が完了します。(充電完了後ランプが消えた状態で、さらに約1時間充電し続けてからお使いになると、電池の特性を最大限に生かすことができます。)



2 本体に充電式電池を入れる

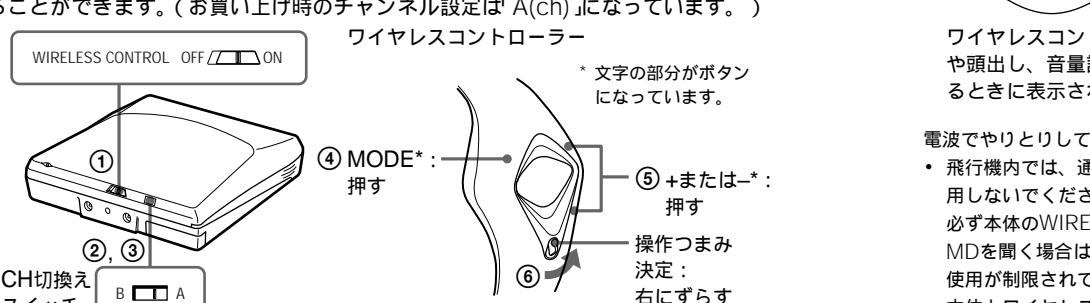


3 ワイヤレスコントローラーに電池を入れる



4 ワイヤレス機能を働かせる

お買い上げ時の設定のままで、ワイヤレスコントローラーを使って本機を操作することができます。(お買い上げ時のチャンネル設定は「A(ch)」になっています。)



その他

使用上のご注意

分解しないでください
ミニディスクプレーヤーに使われているレーザー光が目にあたると危険です。

レンズに触れないでください
レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。
また、こながつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。

充電式電池について

- 充電には必ず付属の充電器をお使いください。
- 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
- はじめて充電するときや、長時間使用しなかったあとは、充電しても通常の使用時間に差があります。何回か放電、充電をくりかえすと通常の状態に戻ります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池を取り換えてください。
- 充電式電池を持ち運ぶときは付属のバッテリーキャリングケースに入れてください。ケースに入れないと、キー・ホルダーなどの金属類と一緒にボケットやバッグなどに入ると、電池の+ - -ショートして危険です。
- 長い間使用しないときは、充電式電池を本体から取り出しておいてください。

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼つて充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先:
社団法人電池工業会

TEL: 03-3434-0261

ホームページ: <http://www.baj.or.jp>

本体の乾電池ケース取り付け部について

本体に充電式電池が入ったままの状態で、取り付け部の端子に金属などがふれると、ショートし、発熱することがあります。

バッグなどに入れて持ち運ぶときは、付属のキャリングポーチに入れてください。

乾電池・乾電池ケースについて

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ずお守りください。

— + - の向きを正しく入れてください。

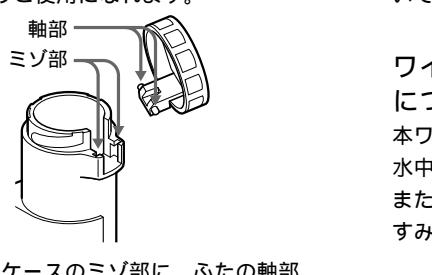
— 乾電池は充電できません。

— 長い間使わないときは、取り出しておいてください。

— 液がこったときは、液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。

持ち運ぶときはキー・ホルダーなどの金属類と一緒にボケットやバッグなどに入れないでください。電池の+ - -ショートし、発熱することがあります。

乾電池ケースのふたに関するご注意
本機に付属している乾電池ケースのふたは、無理な力が加わったときにはずれるようになっています。このような場合、以下の手順でふたを本体にはめ込んで下さい。
もどりご使用になります。



① 乾電池ケースのミゾ部に、ふたの軸部を合わせる。



② ふたを図のようにして、上図の①、②の手順で軸部を片側ずつミゾ部へはめ込む。

ボタン型電池誤飲防止について

- ボタン型電池を使用しています。
- ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、ワイヤレスコントローラーおよび電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

かぶれについて

- 時計本体およびバンドは、直接肌に接触しているため、使用状態によってかぶれを起こすことがあります。
- かぶれの原因として、①金属・プラスチックに対するアレルギー、②時計本体およびバンドの汚れ・サビ・汗など、③体調不良などが考えられます。
- バンドは余裕を持たせてご使用ください。
- 万一異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

置き場所について

次のような場所には置かないでください。
— 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く

— 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)

— 風呂場など、湿気の多いところ

— ほこりの多いところ

— 磁石、スピーカー・ボックス、テレビなどの磁気を帯びたものの近く

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがあります、故障ではありません。

操作中の動作音について

本機は省電力の動作方式になっています。
そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

ヘッドホンで聞くときのご注意

付属のヘッドホンは音もれ防止タイプです
が、音量を上げすぎると音が外れます。

音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を、目安にしてください。

通常の再生ができない

— リピート再生を設定した。

— 再生表示のときにワイヤレスコントローラーのVOLUME +をくり返し押して、(リピート表示が消えてから再生を始めてください。

故障かな?と思ったら

表面のお手入れについて
表面が汚れたときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきをします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。

操作を受けつけない

— ディスクが入っていないワイヤレスコントローラーに「NO DISC」表示が出る。
— ディスクを入れてください。

— ナレーションやイントロなど1曲の録音時間が端に短いと、音がとぎれることがあります。

— ホールド機能が働いていて、本体操作ボタンを押すとワイヤレスコントローラーに「HOLD」表示が出る。

— 「HOLD」スイッチを左印と逆方向にして、ホールド機能を解除してください。

— 組立 内部に水滴が付着している。
— ディスクを取り除いて、ふたを開けたまま数時間待ってください。

— 充電式電池または乾電池が消耗している(ワイヤレスコントローラーに「LOW BATT」表示が点滅する)。
— 携帯電話などを離して使用してください。

— 充電式電池を充電するか、乾電池を交換してください。

— 充電式電池または乾電池が正しく入れられていない。
— 充電式電池または乾電池の②端子と①端子を正しく入れ直してください。

— 何も録音されていないディスクが入っている(ワイヤレスコントローラーに「BLANK DISC」表示が出る)。
— ディスクを入れてください。

— ディスクが壊している(ワイヤレスコントローラーに「DISC ERR」表示が出る)。
— ディスクを入れ直す。それでも表示が出るときは、他のディスクと取り換えてください。

— 音量が小さすぎる。
— VOLUME +/-ボタンで音量を調節してください。

— 便用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けた。

— 次の手順で操作し直してください。
1 すべての電池を取り出す。
2 約30時間そのままにする。
3 電池を入れる。

かぶれについて

— 時計本体およびバンドは、直接肌に接触しているため、使用状態によってかぶれを起こすことがあります。

かぶれの原因として、①金属・プラスチックに対するアレルギー、②時計本体およびバンドの汚れ・サビ・汗など、③体調不良などが考えられます。

— バンドは余裕を持たせてご使用ください。

— 万一異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

置き場所について

次のような場所には置かないでください。
— 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く

— 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)

— 風呂場など、湿気の多いところ

— ほこりの多いところ

— 磁石、スピーカー・ボックス、テレビなどの磁気を帯びたものの近く

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがあります、故障ではありません。

操作中の動作音について

本機は省電力の動作方式になっています。
そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

ヘッドホンで聞くときのご注意

付属のヘッドホンは音もれ防止タイプです
が、音量を上げすぎると音が外れます。

音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を、目安にしてください。

通常の再生ができない

— リピート再生を設定した。

— 再生表示のときにワイヤレスコントローラーのVOLUME +をくり返し押して、(リピート表示が消えてから再生を始めてください。

故障かな?と思ったら

表面のお手入れについて
表面が汚れたときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきをします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

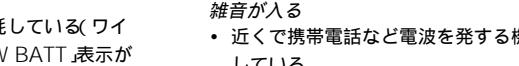
サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。

ワイヤレスコントローラーの防水について

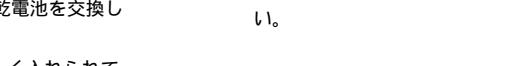
— 本ワイヤレスコントローラーは、水泳など水中でのご使用はできません。

— また、汗や雨などで水分がついた場合は、すみやかにふき取ってください。

— 軸部 ミゾ部



① 乾電池ケースのミゾ部に、ふたの軸部を合わせる。



② ふたを図のようにして、上図の①、②の手順で軸部を片側ずつミゾ部へはめ込む。

ミニディスクの取り扱いについて

ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れや反りなどが誤動作の原因になります。

— いつまでも美しい音で楽しむように次のことにご注意ください。

— ミニディスクに直接触れない
— シャッターを手で開けないでください。
— 無理に開けるとわれます。

— ボタン型電池誤飲防止について
— ワイヤレスコントローラーの電源にはボタン型電池を使用しています。

— ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、ワイヤレスコントローラーおよび電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。

— 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

主な仕様

ミニディスク

形式

ミニディスクデジタルオーディオシステム

再生読み取り方式

非接触光学式読み取り

(半導体レーザー使用)

レーザー

GaAlAsダブルヘテロダイオード、

= 790 nm

回転数

約800 rpm ~ 1800 rpm(CLV)

エラー訂正方式

アドバンスドクロスインターリーフィード

ソロモンコード(ACIRC)

サンプリング周波数

44.1 kHz

コーディング

アダプティブトランズフォームアコース

ティックコーディング(ATRAC)

変調方式

EFM

チャンネル数

ステレオ2チャンネル

モノラル1チャンネル

周波数特性

20 ~ 20,000 Hz ± 3 dB

ワウ・フリッタ

測定限定値以下

出力端子

ヘッドホン/ステレオミニジャック

最大出力 5 mW+5 mW

負荷インピーダンス 16

通常の再生ができない

— リピート再生を設定した。

— 再生表示のときにワイヤレスコントローラーのVOLUME +をくり返し押して、(リピート表示が消えてから再生を始めてください。